

**湖西市公共施設再配置個別計画(案)のパブリックコメント
ご意見の概要と市の考え方について（結果）**

1 募集期間

令和8年4月30日(木)～令和8年5月29日(金)

2 募集結果

(1) 意見提出者：3名(提出方法 メール3名、持参0名)

(2) 意見数：20件

No.	ページ	項目	ご意見・ご提言	市の考え方
1	5	縮減面積等の見込み	本計画では、計画目標の20%に対して、計画終了時点における公共施設縮減率が約8.2%にとどまり、目標を達成できない見込みとされています。人口減少が進む中、人口規模に見合った公共施設が基本的な考え方であり、総量の適正化は待ったなしの課題です。しかし、本計画では「継続」「大規模改修」「建替え」が多く、地元からの要望や財政的な事情から解体が進まないといった課題があり、全体として統廃合・縮減への踏み込みが不足しています。利用率、投資対効果（ROI）、民間代替可能性、将来の維持更新費、現役世代負担をより重視し、施設総量縮減をさらに進めるべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 施設の所管課と連携し、今後の統廃合・縮減に向けて、施設の再配置の方向性の再検討を行いつつ、次回の計画改訂に向け、今後の計画の方向性や内容の具体的な精査・検討を進めてまいります。
2	6	再配置による効果の実績と見込み	第2期までに累計約10億円、2035年度末までに累計で約39億円の管理運営費（人件費含む）を縮減できる見込みとされている点は一定の評価ができます。一方で、今後予定されている建替え・大規模改修について、建築単価の上昇、物価上昇・賃金上昇、維持更新費増加に伴う経営環境の悪化リスクが十分反映されているとは言えません。単年度収支ではなく、20年間の一般会計繰出金を含めた「総市民負担」で比較・公表すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 市民総負担での収支の比較・公表について、他市の事例なども研究しつつ、次回の計画改訂に向け検討してまいります。
3	7	個別施設ごとの行動計画	「地元の要望や財政状況などにより変更となる可能性がある」とされています。しかし、公共施設政策は一部利用者や地元要望ではなく、市全体の財政負担や将来世代負担を基準に判断されるべきです。特に現役世代の意見を聞く必要があり、世論醸成や現役世代・子育て世代の意見を広く把握するため、SNSの運用、オンライン投票や住民投票による模擬住民投票的手法の導入も検討すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、公共施設に係る政策は市全体の財政負担や将来世代への負担を考慮しなければなりません。一方で、利用者や地元の意向などを完全に無視することもできないと考えております。 公共施設の再配置については、施設所管課において市民アンケートや利用者の声、地元意見なども勘案しながら方向性を検討し、財政事情を考慮のうえ実際の実施時期を決定していますが、必要に応じて、SNSの運用や住民投票など、ご提案いただいた手法の導入も検討してまいります。

No.	ページ	項目	ご意見・ご提言	市の考え方
4	10	浜名湖れんが館	浜名湖れんが館については、「転用・譲渡」ではなく、行政施設としては廃止を前提に検討すべきです。本施設は、地元の建物保存の要望を受け取得・耐震補強を実施した経緯がありますが、駐車場が遠く利用者の利便性に課題があり、令和5・6年度に民間事業者から利活用・実証事業を募集したものの採択・応募に至っていません。人口減少が進む中、行政が保有し続ける合理性は乏しく、民間への譲渡や廃止を検討すべきです。保存価値を重視するのであれば、民間・地域団体による自主運営へ移行し、行政負担は最小限とすべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 浜名湖れんが館については、一定の稼働率があることに留意して「転用・譲渡」を進めていきますが、困難な場合には改めて再配置の方向性を検討してまいります。
5	11～14	学校統合	東小学校、知波田小学校、湖西中学校、岡崎中学校の学校再編・統合方針については、人口減少を踏まえれば合理性があると考えます。一方で、統合後の東小学校や知波田小学校の校舎等の活用方法について「検討をしていく必要がある」とされるのみで、未利用資産化（赤字の垂れ流し）する懸念があります。民間への譲渡・売却・廃止・解体まで含めた方針を早期に示すべきです。また、改修・増築についても、将来需要を踏まえた最小限の規模（過剰投資の抑制）とすべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、統合後の知波田小学校や東小学校の活用方針については、早期にお示しできるよう検討を進めておりますが、具体的な方針を示すことは現時点では難しいと考えております。 校舎等を現状のまま引き受けていただける見込みがあるのか、解体した場合に跡地の需要があるのかなど、様々な内容を勘案し、市にとって最もよい形となるよう検討してまいります。
6	16	市役所	市役所庁舎について、建て替え時期を令和12年度から令和15年度へ変更（延期）し、健康福祉センター（おぼと）や消防本部等の行政機能を「集約・複合化」する方向性は、財政負担の平準化および効率化の観点から評価します。しかし、単にハコを複合化するだけでは歳出削減として不十分です。現在、現庁舎事務所等で進められている文書量調査やペーパーレス化、一部部署でのフリーアドレス化（パイロットオフィス化）の取り組みを全庁的かつ徹底的に義務付けるべきです。さらに、今後はリモートワークの本格活用や業務のデジタル化・自動化による将来的な人員・職員数の削減を確実に見据える必要があります。これらを前提に、職員一人あたりの必要床面積および総職員席数を極限までミニマム化させ、新庁舎建設における総延床面積の大幅な縮減（過剰投資の抑制）を絶対条件として計画に明記すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 新庁舎における施設規模（総延床面積）については、新庁舎建設基本計画のなかでペーパーレス化やフリーアドレスの導入により書庫や執務室面積の縮減を検討する旨を明記しております。 ペーパーレス化については既に全庁的に導入されている一方で、フリーアドレス化については、業務によっては馴染まないと考えられるものもありますので、新庁舎建設までに導入する部署や方法などの精査を行い、施設規模の縮減に努めてまいります。
7	16	消防本部	消防本部については、耐震性の低さや老朽化、軟弱地盤への対策など、防災上の必要性は理解できますが、総額15億円規模の建替事業であり、施設規模の最適化をさらに進めるべきです。市役所新庁舎への機能集約・広域連携、民間委託等を前提とし、防災センターや災害対策本部機能との統合配置による面積縮減を徹底すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 消防防災センターについては、消防本部機能、危機管理課機能、防災センター機能、市役所サーバー室機能を統合配置させた複合施設となっており、防災センター、防災倉庫の機能移転が完了し、旧施設等を解体することにより、施設面積が縮減される計画となっております。市庁舎等の建て替え、改修にあたっては、既存他公共施設の機能集約が可能か否かも検討のうえ、市全体の施設面積の縮減に努めてまいります。

No.	ページ	項目	ご意見・ご提言	市の考え方
8	17	分川住宅	分川住宅については、現状の規模を維持して長寿化改修を行う計画とされていますが、民間賃貸市場が存在する中で、行政が「家主」として施設維持を継続する必要性は限定的です。人口減少を見据え、市営住宅については、住吉東住宅の廃止・統廃合の検討や、松山住宅の2035年までの廃止方針のように、段階的縮小・民間賃貸活用をさらに進めるべきです。低所得者支援は民間住宅を活用した型へ移行すべきと考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、今後の長寿化や廃止の方針を検討してまいります。
9	20	湖西市営火葬場	湖西市営火葬場について、人口規模から見て2箇所の火葬施設は過剰であるとして新居斎場（やすらぎ苑）への統合・閉鎖を進めた点は合理的であり、高く評価できます。公共施設改革においては、このように人口規模に見合った公共施設への集約、需要・費用対効果を踏まえた統合を、他施設にも広く波及させるべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後も人口規模や費用対効果を踏まえた施設の統廃合を検討してまいります。
10	57	市立湖西病院	市立湖西病院については、「継続または建替え」ありきではなく、民間への譲渡や廃止を含む抜本的比較検討を行うべきです。人口減少・患者数減少、在院日数短縮、在宅移行の進展を踏まえると、入院需要は構造的にかなり減少していく可能性が高いと考えられます。また、物価上昇や賃金上昇、建築単価の上昇、診療報酬の実質的な引き下げにより、公立病院の経営環境はさらに悪化していくことが明白です。	貴重なご意見ありがとうございます。 湖西病院については、病院の在り方を検討するプロジェクトチームを院内で立ち上げました。プロジェクトチームでの検討の参考とさせていただきます。
11	57	市立湖西病院	病院問題において重要なのは単年度収支ではなく、「建替え・閉院に係る初期費用」と「20年間の一般会計繰出金の合計（総市民負担）」の比較明示です。現役世代に200億以上の税金の過剰投資を強いることのないよう、①建替え、②縮小建替え（浜名病院との統廃合による100床規模程度など）、③外来特化（病床なし・在宅等）、④民間譲渡・廃止、⑤指定管理、⑥廃止などの各オプションについて、必要な病床稼働率や実現可能性、総市民負担を網羅して比較・公表すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 プロジェクトチームでの検討の参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目	ご意見・ご提言	市の考え方
12	57	市立湖西病院	湖西病院については、急性期医療（がん・心筋梗塞・脳卒中など）は対応できない実態を踏まえ、「本当に公立病院でなければ成立しない医療機能か」を精査すべきです。浜松医療センター側は病床稼働率を維持するインセンティブがあるため、湖西への逆紹介が減少し、機能分担が成立しないリスクも想定されます。公立病院の維持にこだわらず、通院の足の確保（モビリティ、自動運転までのつなぎの通院支援）で代替したほうが、長期的に市内の医療の質を高め、総市民負担を安く抑えられます。	貴重なご意見ありがとうございます。 プロジェクトチームでの検討の参考とさせていただきます。
13	57	市立湖西病院	全国では、徳洲会等による指定管理・民間運営事例が存在します。公立直営に固執せず、徳洲会による指定管理で300床稼働、売上60億円、市からの繰出前でほぼ黒字化を達成している榛原総合病院のような成功事例を取り入れるべきです。また、審議会委員に病院経営の専門家がないのはあり得ない事態であり、外部の病院経営の専門家を加え、将来需要と医療機関間のインセンティブを踏まえた機能配置の最適化を意思決定すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 プロジェクトチームでの検討の参考とさせていただきます。
14	全体	総論	人口減少社会において重要なのは、「現在の施設を維持・継続すること」ではなく、「将来世代（特に現役世代）に恩恵のない過剰投資や、過大な財政負担を残さないこと」です。財政に余裕はないため、余裕があれば市民・企業に税金を返還（減税）すべきです。公共施設改革は痛みを伴いますが、先送りこそが最大の市民負担になります。湖西市には、人口規模に見合った公共施設への縮小、民間活力の徹底活用（民間への譲渡や廃止）、現役世代の負担抑制を重視した意思決定を強く求めます。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の政策決定の参考とさせていただきます。
15	13	事業概要 （下線部追加）	小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します。 <u>その際、北部多目的センターとの機能集約・複合化についても合わせて検討します。</u> また、中学校の統合に伴い、岡崎中学校の校舎の増築及び既存校舎の改修を行います。	貴重なご意見ありがとうございます。 学校施設の統廃合や廃止後の施設の利活用については、ご指摘の内容も含め、広範に検討してまいりますので、検討の進捗により必要が生じた時点で改めて計画の修正を検討いたします。

No.	ページ	項目	ご意見・ご提言	市の考え方
16	12	事業概要 (取り消し線削除) (下線部追加)	小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します。 知波田小学校の校舎等の利活用について検討します。	貴重なご意見ありがとうございます。 学校施設の統廃合や廃止後の施設の利活用については、ご指摘の内容も含め、広範に検討してまいりますので、検討の進捗により必要が生じた時点で改めて計画の修正を検討いたします。
17	25	事業概要 (下線部追加)	また、周辺の公共施設 <u>(新統合小学校)</u> との機能集約・複合化についても合わせて検討します。	貴重なご意見ありがとうございます。 学校施設の統廃合や廃止後の施設の利活用については、ご指摘の内容も含め、広範に検討してまいりますので、検討の進捗により必要が生じた時点で改めて計画の修正を検討いたします。
18	41	事業概要 (取り消し線削除) (下線部追加)	存続する場合は、大規模改修を実施します。<u>周辺の公共施設 (新統合小学校) との機能集約・複合化についても合わせて検討します。</u>	貴重なご意見ありがとうございます。 今後行う施設の存続方針の検討と併せてご指摘の内容についても検討し、必要に応じて計画の修正を検討いたします。
19	11	東小学校	再配置の方向性としては「継続」(知波田小学校と統合)、「東小学校の校舎等の活用方法については検討をしていく必要があります」との記載があり、実施時期は第3期前半(2026年～2030年)となっているものの、事業概要の項には「小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します」とあるのみで、東小学校の跡地利用に関しては方針が示されていない。 現在は廃止となっている元浜名湖女河浦海水浴場や、人手不足に悩む優良農地にも至近であることから、大都市圏からの利用者が見込める、滞在型教育・研修施設や自然農法体験施設への転用ができれば、関係人口を増やすことへの即効性も見込める有力な策になると考えられる。 その基本コンセプトに整合する民間からの再利用計画の提案募集を行うべきと考える。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の検討の参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目	ご意見・ご提言	市の考え方
20	12	知波田小学校	再配置の方向性としては「継続」（東小学校と統合）、「知波田小学校の校舎等の活用方法については検討をしていく必要があります」との記載があり、実施時期は第3期前半（2026年～2030年）となっているものの、事業概要の項には「小学校の統合に伴い、湖西中学校の校舎等を改修します」とあるのみで、知波田小学校の跡地利用に関しては方針が示されていない。 天浜線知波田駅や浜名湖岸、マリーナや入出漁港、人手不足に悩む優良農地にも至近であることから、大都市圏からの利用者が見込める滞在型教育・研修施設や自然農法・漁業体験施設への転用ができれば、関係人口を増やすことへの即効性も見込める有力な策になると考えられる。その基本コンセプトに整合する民間からの再利用計画の提案募集を行うべきと考える。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の検討の参考とさせていただきます。

※ お寄せいただいたご意見について、適宜要約させていただいております。